

〔巻頭言〕

札幌学院大学心理臨床センター開設25周年に寄せて

札幌学院大学大学院臨床心理学研究科長 大宮 秀 淑

札幌学院大学心理臨床センターは、2020年3月末で開設25周年を迎えました。1995年に人文学部附属心理臨床センターとして開設されて以来、教職員をはじめ、修了生や関係者の方々など多くの方々に支えられて、今日に至っていることには心からの感謝を申し上げます。

2022年4月現在で開設から27年目を迎えており、本来であれば周年記念講演会などが開催されるのですが、皆様ご存じの通り、現在も未だ収束をみていない新型コロナウイルスの感染拡大の時期と重なり、苦渋の決断となりましたが記念関連行事などの実施を見送る事態となりました。2000年に大学院臨床心理学研究科が開設され、翌年の2001年より毎年発行しておりました本センター紀要についても、新型コロナウイルスの影響によりセンターを約1カ月間閉室し相談活動を停止せざるを得ないという前代未聞の状況に鑑み、2021年については発行を見合わせ、心理学部および大学院臨床心理学研究科とともに新札幌に移転する2022年に移転記念合併号として発刊することとなりました。この間、刻一刻と状況が変化する中において柔軟かつ臨機応変に関係者の皆様方にはご対応を頂きました。皆様方のご理解とご協力に対しまして、この場をお借りして御礼申し上げます。

私どもセンターの役割も年を追う毎に変化して参りました。センター開設時は、地域住民の心の健康に資する活動として個別相談を主たる活動として進めて参りましたが、大学院臨床心理学研究科の開設後は臨床心理士養成のための実習機関としての役割を担って参りました。その後、時を経て2018年に日本初となる心理職に関する国家資格である公認心理師が誕生してからは、公認心理師養成のための学内実習機関としての重責も担うこととなりました。

センターは先にご説明申し上げました通り、2022年春より新たな地となる新札幌キャンパスに移転しております。住み慣れた江別を離れることに対する惜別の想いを抱きつつも、周囲に行政機関や医療機関が立ち並ぶ新札幌においては、センターとして果たすべき役割や地域社会から求められる内容にも従来とは異なるものが含まれてくることが想定されます。今後、今までセンターが積み重ねてきた歴史と伝統を大事にしつつ、新たな心理臨床センターとして、より一層地域の皆様方と連携しながら、札幌学院大学心理臨床センターが新札幌に移転したことを皆様に喜んで頂けるよう、教職員が先頭に立ち、大学院生や修了生なども力を合わせながら尽力して参りたいと考えている次第です。今後とも皆様方のご理解とご指導のほどを何卒よろしくお願い申し上げます。